

大恐慌を防いだか？ —経済危機後の日本・世界経済を展望する

早稲田大学政治経済学術院教授
若田部 昌澄

- * 川を遡り、海を渡る
- * 先行きに懸念材料
- * 雇用が問題のアメリカ
- * 無理があつたユーロ導入
- * ユーロ維持の四つの選択肢
- * ギリシャ離脱にも難題
- * 中国のハードランディングはない
- * 他国を笑えない日本
- * 日銀は義理チョコ？
- * 細心の注意で政策対応を



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は早稲田大学の若田部昌澄教授においでいただきました。若田部さんはこれでこちらは四回目ですが、一回目は学者相手でない講演としては経済倶楽部が初めてだったということで、経済倶楽部としても光栄なことだったかと思えます。

三回目が一昨年10月の石橋湛山賞受賞記念講演で、このときもすばらしい講演をしていただきました。そのとき私は、若田部さんはまだお若いのであと十数回は経済倶楽部でお話が聞ける、楽しみですと申し上げた記憶があります。

今日は盛りだくさんな内容なので時間的に大丈夫かなと思いますが、講演時間80分間で世界一周ということですが、これで往年の映画を思い

出される方はそういうファンということになりますが、（笑）明快な若田部さんのお話を楽しみたいと思います。それではよろしくお願いたします。（拍手）

若田部 若田部でございます。よろしくお願いたします。「80分間世界一周」ということでアメリカ、欧州、中国、日本と回っていきますが、世界経済はだいたいこんなところを見ていけばよいという私なりの考えを述べます。いちばん最初に指摘したいのは、その視点です。

まず大事な軸をどこに定めるのかということですが、私はいつも「経済学の知識と知恵」（Knowledge and wisdom）を重視します。経済学についてはいろいろ批判もありますけれども、しかしかなりわかっていることもあるので、そ